



kunlapopolo・・・人々の中で人々と共に・・・
劇団 新制作座 創立71周年

The letter of Shinseisakuza

新制作座だより

<http://www.shinseisakuza.com>



2021 SPRING vol.21



早春の眩き

空 は青くとも吹く風はまだ冷たい。けれど暦の上ではもう春なのです。ね。

佐賀・沖繩・八王子にて『泥かぶら』と『ドラマ

ティックリーデング&小さなコンサート』を公演することが出来ました。それは奇跡的で夢のようで、一期一会のかけがえない瞬間でした。やっと幕が上がりました！

昨年、コロナ禍でありながら、熊本・人吉・佐賀・沖繩・八王子にて『泥かぶら』と『ドラマティックリーデング&小さなコンサート』を公演することが出来ました。それは奇跡的で夢のようで、一期一会のかけがえない瞬間でした。やっと幕が上がりました！

昨年、丁度同じ頃、劇団の事務所には次々と公演の中止や延期の連絡が入り、心が折れそうに呆然となっていました。劇団員達は額を集め話しあった末、今は籠城しよう！掃除をしよう！タケノコを掘ろう！歌おう！草刈りをしよう！いらぬものは売ろう！と、武蔵野の丘陵にある新制作座を動かぬ暮らしをするに決めました。

学校も家庭も社会も、全てが例外なく大きな影響を受ける困難な時期にも関わらず、劇団の経営を心配し、励まし力を与えてくださいました皆様のご友情とご恩情に支えられ、2021年の春を迎えることが出来ました。劇団員一同嬉しく有難く感じております。

まだまだ世界的な感染拡大の波は続いています。人間の英知と努力が実を結び、治療に希望ももてる日がくるのも遠くないと信じます。

新制作座は創立者眞山美保の「楽・天・主義を武器に」という言葉を胸に刻み、芸術を創造する劇団でありたいと思います。

皆様のご健康とお栄を祈りつつ
高尾にて 2021年立春



12月13日、2020年大千秋楽、沖繩コンベンションセンター劇場にて

沖縄公演実現へ

— 2020年12月12・13日

沖縄公演 —

10月7日、文化庁「次の担い手を育成する子供向けコンテンツ制作事業」の募集が始まると聞いた瞬間、「沖縄」の文字が頭に浮かんだ。劇団員と相談するや、星槎グループ本部の桑原寿紀先生に電話をした。星槎国際高等学校沖縄学習センターと那覇キャンパスの協力が得られるかの打診だった。早速桑原先生から下条隆志センター長と大平奈美佳キャンパス長に、公演協力依頼メールが送られた。メールが届いた後、すぐに両先生にお電話して公演地の選定にかかり大平先生から交通の便、駐車場の広さなど貴重な情報を伺った。

星槎の学習センターのある沖縄市の公演は、会場を市民会館とすぐに決め、幸い土曜日のあき日12日をpushさえ続く13日の会場を那覇市で探したが、適当な会場が見つからず車での移動を考え宜野湾市の沖縄コンベンションセンターの劇場に決めた。

第一次募集の締め切り日10月15日に応募書類を間に合わせ22日に採択の連絡を受けた。公演まで2か月、時間もなくましてや初めての沖縄公演である、入場無料とは言えこのコロナ過の中お客様が集まって下さるのか不安が大きかった。公演まで2回沖縄に飛び県庁の文化担当部署、教育委員会文化担当部署、各地の社会福祉協議会などお挨拶して歩いた。コロナ過で学校訪問がままならなかったことが残念だったが、新聞2社の取材を受けRBCラジオの番組に出て広報に力をいれた。新聞2社とラジオ局に繋いで



2020年12月11日、明日の公演を前に那覇市歴史博物館、ひめゆりの塔、平和の礎、を巡り沖縄の歴史を学びました

くれた同窓の宮川雅彦さんと今公演の事務局となって整理券の対応その他お世話になった星槎国際沖縄の皆様のお協力にこの場をかりてお礼を申し上げます。公演当日の沖縄市は昨日までの長雨の曇天から晴れ間も見える天気になり、会場に早く着いた私はしばし会館を取り囲む公園のような敷地を散策し胸の高鳴りを押さえる様に深呼吸をしていった。

さて心配していた入場者の数は、目標の700には届かなかったが、両日とも450ほどの来場者があり胸をなでおろした。劇団70周年の年の千秋楽を沖縄で迎えられたことを喜ぶとともに、2020年の年明けに誰がこの沖縄公演を想像できたのだろうか。やはりこの世には人知を超えた何か大きな力があるように思っている。

(記・真山蘭里)



2021年元旦 新年会



三郎兵衛役でやっと初舞台を踏みデビューを果たした小山利英(左から2人目)

2020年初日の幕が上がりました

「演劇・泥かぶら」
— 2020年11月11日
東京純心女子学園公演 —

昨年2月頃より、新型コロナウイルス感染拡大の波が

押し寄せてきた。3月4月5月6月、次々に公演は中止や延期になり消えていった。そんな中、地元八王子の東京純心女子学園高等学校の芸術鑑賞会だけが、9月末の文化祭が開催出来たら『泥かぶら』もやります！と、言っ頂きその日が無事終わるようにと皆で祈りました。

毎年夏休みは、星槎高尾キャンパスで合宿を行う東京純心の吹奏楽部、引率の先生方とも親しく、最終日は少女達の成果発表会の演奏を楽しみに聴かせてもらっていました。
校長先生は、何時の日か子ども達に『泥かぶら』を観せたいとお考えでした。それはご自身が鹿

児島の高校生の時『泥かぶら』を3年生だけが観ることが出来なかった悔しい思い出があり、やっと実現することが出来たのです。

いよいよ公演当日、関係者全員PCR検査をすませ、体温を測り、生徒さん達は全員マスク、客席は前後左右をあげて座り開演を迎えました。静かな客席の中しっかりと作品をつかむ少女達の集中力。俳優もスタッフも一年振りの舞台に無我夢中でした。

この厳しいコロナ禍で、終わつた今、改めてよくぞご決断くださったことだと、劇団員一同深く深く感謝する次第です。

(記・木村幸子)

「ドラマティックリーディング」「ピアノ演奏」

熱き想い

— 2020年11月26日
八王子第一中学校公演 —

久し振りのドラマティックリーディングは、市立第一中学校の体育館公演でした。校長先生は、コロナの影響が続くと子ども達の心の面が心配だと言われ、急遽上演させて頂くことになり



泥かぶら：上杉綾(右) ピアノコンサート：渡邊灯人

ました。新制作座の一番近くにある城山中学校の校長をお勤めだった頃、地域の子どもの育成に尽くされた魚住さんを通し親しくさせて頂いた校長先生です。

早めに仕込みを終え客席を見渡すと、少し離れた椅子の上に、写真立てが置いてあるのに気づきました。それは懐かしい魚住さんの笑顔でした。幼い頃、戦後の貧しい時、幼いうちから苦勞をし、『泥かぶら』と出合い人生を変えたと語った魚住さん・・・胸が熱くなりました。校長先生は、「今日の舞台を一緒に観たかった」と言われ、暫く2人で思い出を語り合いました。この一年、苦しい思いをした子ども達に少しでも楽

しんでもらえたら、心が開放できたら、こんな嬉しい事はありません。心に残る公演でした。

(記・山形久人 & 小津和知穂)

「ドラマティックコンサート」

熊本公演は

こんなでした！

— 2020年12月

5日 熊本人吉球磨公演

6日 熊本城ホール公演 —

文 化庁の「文化活動の継続支援事業」に採択された公演

最初となった熊本公演。

昨年からの計画に、熊本県社会福祉協議会よりの助成金も下りて待たれていたのですが、高校の

芸術鑑賞会延期になる中、子ども達だけでも見せたいと粘った結果でした。これは担当の私以上に情熱を傾け、名文の申請書を提出した眞山理事長の労の賜物でした。ただ連絡が来たのは公演予定日の一月前。準備の時間が不足との声の中、1か月後の12月6日(日)に変更し走り出しました。そこで私は、熊本の前の土曜日なら子ども達も呼べる。それなら7月の大豪雨災害で苦しんでいられる球磨川流域の人々にエールを送りに行きたいと提案し、人吉球磨地方の公演が実現しました。ホールは被災のため使えず、錦町



熊本城ホール・シビックホールの受付に、水野商店様よりスタンド花を頂きました

西コミュニティセンターで午前、午後は人吉市永野町公民館という集会所での2回の公演を行いました。コロナ対策で30人までとなった、幼児から老人までの方々が素晴らしいお客様になつてくたさいました。

今年から新しい作品として企画していた『ドラマ

ティックコンサート』が計らずも、球磨から始まり、翌日、新しい熊本城ホール・シビックホールで開演したのです。最も嬉しかったのは、「客席との一体感が素晴らしく本当に温かく心地よい素敵なおコンサートでした。」と言って戴けたことがとうございました。

(記・江崎はんな)



人吉市永野町公民館の公演を終えて

「演劇・泥かぶら」

夢が叶いました！

— 2020年12月

8日 佐賀市公演
9日 神崎市公演 —

佐 賀県親と子の読書会協議会、長い歴史のこの会を知ったのは、4年前の大阪公演、吉井ご夫妻との出会いでした。何時か『泥かぶら』を佐賀へ、と願う吉井様の心が天に届いたのか、10月に文化庁「次のにない手を育成する子ども向けコンテンツ制作事業」に見事採択され、9都市計12ステージ『未来へのバトンタッチ泥かぶら全国ツアー』の巡演が決まりました。万歳！と叫び直ぐ吉井様に電話を入れると「クリスマスプレゼントやね〜本当に入場無料？・・・夢のごとある」と、涙ぐまれ、読書会のお母さんたちの集客の呼びかけが始まり1ヵ月後、公演当日をむかえました。

客席の細やかな反応、情感あふれる息遣い、あたたかい拍手、俳優たちも生きる場所を取り戻し舞台は輝いていました。

しかし、9日神埼公演の第2幕、中年の女役の俳優が舞台で転



佐賀公演 地元子ども達が生き生きと演じてくれました



神埼公演 親と子の読書会の皆様と

倒、懸命に暮切れまで演技抜き救急搬送、診断の結果は左大腿骨骨折、11日人工関節を入れる手術を受け、お陰様で26日無事退院、回復も順調です。大変心配をおかけし、お世話になりました佐賀の皆様、佐賀医療センターの先生方へ厚く御礼申し上げます。後の沖縄公演の代役は私が務め皆で乗り切りました事ご報告致します。

(記・小津和知穂)



神埼公演の開演前、渡邊灯人ウェルカムピアノコンサートを行いました



神埼公演の童さん、明るく舞台をつとめてくれました

「声の劇場」 『野盗、風の中を走る』のこと

『野盗、風の中を走る』は1957年、第一回目の訪中から帰国した眞山美保が一口气に書き下ろした力作で、1958年と67年の2回に涉って日本縦断公演を行い、774回の上演回数を数え、多大な反響を巻き起こしました。東宝では稲垣浩監督によって映画化され、歌舞伎では歌舞伎座と名古屋御園座で三世市川猿之助(現 猿翁)らによって上演され、夫々大好評を博しました。戦国時代に材をとり、野盗と農民が協力して非道な権力に立ち向かうストーリーと高らかに人間性をうたいあげたテーマが多くの大衆の心をとらえて、初演以来半世紀を越える今日まで再演を切望する声が続えません。併し、何分にも上演時間3時間半、延べ登場人物60名という大作。都会の劇場なら兎も角、時間制限の厳しい現在の地方都市の会館では上演不可能です。そこへやって来たのが新型コロナ禍です。



野盗 独眼の太郎



野盗、風の中を走る

劇場は閉鎖され、集会はご法度、決まっていた公演はすべてキャンセル。それならば、この時機に『野盗』の読み合わせをやるのではないかと、という声が起こり、座友の役者、声優、舞踊家、中国武術家、音楽家、そして元劇団員の仲間呼び掛けしたところ、みんな喜んで参加してくれました。矢張り、名作ですね、稽古場は活気にあふれ、読み進むうちに声音が変わり、熱涙にむせび、知らぬ間に登場人物に成り切っていくのが分かりました。いつしかコロナウイルスも影を潜めていくようでした。

た。そして、これはこの儘で終わらせては勿体ない、映像に残し、劇団創立70周年の記録として3幕11場の舞台を18話に分け、「声の劇場」と題しDVDに収めることにしました。新制作座を中心にして異なった分野の一大コラボレーションです。この企画を推進してきた小津和知穂の演出によって目下寒稽古中です。どうかご期待ください。

(記・込山慶二郎)

「舞踊劇・雪の曲」

雪の曲、再演への道

織

物の街として繁栄した八王子の伝統文化を今に伝える、八王子芸者「ゆき乃恵」の女将めぐみさん。きっかけは昨年の夏、お座敷がない、舞台が中止になると、厳しい状況にある芸者さんと劇団員が共に作れる演目はありませんか？DVDを販売して支援を呼び掛けましょう、という長谷川様からのご提案でした。

散々迷った末に、『雪の曲』に決めました。台詞は一つ、全曲三味線、所作で物語が伝わります。これは50年前のブラジル公演で好



左から めぐみさん、眞山蘭里、菜乃佳さん

評を博し、日系1世の方々の望郷の念を掻き立てた美しい物語です。情愛の世界『雪の曲』是非ご覧ください。

(記・小津和知穂)

※発売、配信情報は、裏表紙(8面)へ

— 出演者

八王子芸妓

めぐみさんより

『雪の曲』親鸞役を務めて

この度、初めて新制作座様と一緒にさせて頂けます機会を頂戴し、心より感謝申し上げます。

今年お目にかかってすぐに、蘭里先生が『雪の曲』をお一人で

3役演じられていらっしやる映像を拝見させて頂きました。その物語の美しさと、哀しさと、そして、役を演じ分けられる素晴らしさにとても感動致しました。と同時に、自分が挑戦できるのだろうか、とても不安でございました。蘭里先生はじめ、劇団の皆様の温かいご指導を賜り、この度の舞台に立たせて頂きました。「本物」の「役者」の迫力を間近で感じさせて頂き、何事にも替えられない貴重な経験をさせて頂きました。この素晴らしい作品を、是非多くの皆様にご覧頂けたらと願っております。

— 企画者

(株)ピラミッドフィルム

長谷川 靖さんより

蘭里さんの指導の下、八王子芸者のめぐみさん、菜乃佳さんとが3か月の稽古を経て作り上げた舞台。文化庁さんからもご協力をいただき、無事に撮影が終了しました。

同じ八王子にいらながらも、新制作座さんと八王子芸妓のみならずとは、一度も交流がありませんでした。ただ初稽古で、めぐみさん

んの親鷲の舞踊を観るや否や、何年も「芸」を研鑽してきた仲間同士の会話に変わったのですから、不思議なものです。

映像も、配信も、コラボも手探りの中、進めています。是非、多くの方々にご覧頂きたいと思っています。応援をお願い申し上げます。

「イベント」

新制作座クリスマス

— 2020年12月24日 —

新 制作座のクリスマスとは何なのだろうと改めて

思った時、行事の一つなのか、キリストを崇拜するのか、いやどこにもない、何とも言えない不思議な気持ちを抱く。いつもここに住んでいる当たり前のこの場所の光景が来る人を出向かえる。今年には劇団創立70周年記念祝賀会を、12月に東京会館でクリスマスを兼ねて祝うはずだったのだが、この



幸也くん(劇団員 上杉綾の息子)の所へ待ちに待ったサンタさんがやってきました☆蘭里サンタさん気分が入ってます!

場所で劇団員と星槎の仲間だけで行うことになった。毎年クリスマス飾りつけでは、あーでもない、いや〜こっちのほうがいいと言いつつ合っている。その声や姿が、あーいつも通りの変わらぬ劇団員の関係で愉しさを覚えてしまうこの頃である。

世の中が変わりゆく中で、変わらないハートの新制作座。出会った人たちが、昔のままの温かい気持ちを感じられる存在であり続けたい。嬉しいのは、クリスマスに参加する子ども達の成長、これが一番の楽しみです。

(記・亀川忠助)

劇団員の紹介 No.07

福島 里佳

rika fukushima

このコーナーは、劇団員の活動秘話などをとりあげ、一人ずつご紹介します。



【プロフィール】

島根県出身 2011年入団。2015年泥かぶら役全幕デビュー。美郷町観光大使。星槎国際八王子の演劇の講師を務める。

【Q & A】

Q 入団のきっかけは？

A 当時所属した事務所の講師をされていた俳優の赤塚真人さんの舞台を星槎高尾ホールで上演することになり、そこで新制作座と出会いました。当時の私は受けるオーディションに落ち続けていました。背の高い子が選ばれやすく145cmの私には大人の役は出来ない、でも仕事が欲しかった。蘭里さんから『泥かぶら』は小さな子どもが主役だよと、声をかけて戴き「よければ使ってください!」と、その翌年の一宮公演の梅吉役で旅公演に参加しました。初めての体育館公演では、緞帳柱(舞台を張り出し上手と下手に丸太の柱を立て引幕の緞帳幕吊る)を人力で立て劇場空間にする技術を見た時、凄く感動して!こんな劇団見たことがない、私はここで学びたいと思い入団しました。

Q 18代目の泥かぶら役について

A その頃(当時の泥かぶら役が引退を発表)、私は俳優として完全に自信を失い、演劇をやめようと思っていた時でした。そこに泥かぶら役を、とのお話に正直自分なんか60年以上も続く劇団の主役なんか無理、責任が重すぎると辞退しました。蘭里さんの『泥かぶら』継続の為に必死な姿を見た時、心が動かされ、序幕だけならと役の勉強を始めました。

Q コロナ禍で感じたことは？

A 私にとって一番大事なことを教えてくれたのがコロナでした。今まで自分は気付かなかった、こんなにも私にとって舞台は大切なものだったのかと思い知りました。

Q これからどんな役者・芸術家になりたいと思いますか？

A 私は『泥かぶら』の3つの言葉に、人間ってそうあつたら幸せだなと思うし、争いが起きなくなるのではないかと思うのです。その想いを全世界に広げたい、自分も守って素敵な女優になりたい。

Q 勉強したいことや目標は？

A 新制作座にねむる芸術作品の復活上演!!! (大きく出てしまいましたとカラカラと笑う里佳さん、目は本気です)



保護犬だった日向くんと

2021年 新制作座公演日程

(2021年1月24日現在)

- 2月 11日 ◆演劇『泥かぶら』群馬県みどり市一般公演
会場: 笠懸野文化ホール 入場無料
文化庁「子ども向けコンテンツ制作事業」
- 14日 ◆演劇『泥かぶら』八王子市一般公演
会場: 南大沢文化会館 入場無料
文化庁「子ども向けコンテンツ制作事業」
- 4月 8・9日 ◆声の劇場『野盗、風の中を走る』
収録予定 会場: 新制作座 高尾ホール
- 29日 ◆演劇『泥かぶら』長野県佐久市公演(一般)
- 6月 22日 ◆演劇『泥かぶら』福島県・桜の聖母学院小学校
- 9月 30日 ◆ドラマティックリーディング『泥かぶら』『八郎』
岐阜県立坂下高校
- 10月 12日 ◆演劇『泥かぶら』倉敷市立玉島北中学校
- 10月 下旬～ ◆九州巡演
11月上旬
- 11月 14～19日 ◆演劇『泥かぶら』新潟県燕市内5校中学校体育館公演

— * 同封の郵便振替の用紙について * —

2021年賛助会費 ご協力をお願い

昨年は、賛助会費に加えネットショップShopify「劇団のお蔵」に多くのご支援とお力添えを賜り誠にありがとうございました。劇団員一同勇気をいただき救われました。公演が少なくても、劇場に来て下さる方々に必死な舞台を届けられるように努力を続けて参ります。2021年もどうぞよろしく願い申し上げます。

News



舞踊劇『雪の曲』

原 作: 眞山 美保
振 付: 藤間 勘晃
演 奏: 杵屋六郎助社中
舞台監督: 山形 久人
音響・効果: 斎藤 平
照 明: 亀川 忠助
制 作: 小津和 知穂
出 演: 親鷲……めぐみ
木こり…眞山 蘭里
仔鷲……菜乃佳

企 画: (株)ピラミッドフィルム

※関連記事、6-7面をご覧ください。

○冬の着物
新制作座所蔵「冬の着物」モデル: 紗愛
きもの解説: 中谷 比佐子
季節と着物: 荒井呉服店 荒井 哉子

●観劇三昧 (オンラインサービス)
2月1日より配信中!

●DVD・Blu-Ray
3月16日 発売!

2月14日までにDVD・Blu-Rayを先行申し込み戴いた方には、5,500円にて販売いたします。(2月15日以降は6,600円)
特別特典として、クレジットに「特別応援協力」としてお名前を掲載させていただきます。

お申込み先:

『雪の曲』DVD・Blu-Ray 予約
新制作座: 042-661-0001
info@shinseisakuza.com



観劇三昧



編集後記



眞山 蘭里
昨年のお正月には考えもしなかったこと、新しい家族日向(ヒナタ)が...



小津和 知穂
一年振りの立春号、ご無沙汰お許しください。早春の春りと感謝を込めて!



木村 幸子
その時与えられたことに全力を尽くす! そうありがたいと思う。



山形 久人
三碧木星今年の運勢、「土台を造る年」78歳頑張ります!



江崎 はんな
「人々と共に」は変わらず、「自然を敬い、すべての生命と共に」と思うこの頃。



込山 虔二郎
コロナ禍が去り、劇場は全て満員となった... 84歳の初夢です。



亀川 忠助
孔子の言葉「五十にして天命を知る」だが、まだまだ知らないことだらけ。



松原ふみこ
今号の表紙写真はオオイヌノブグリ。過酷な環境でも可憐に咲く、大好きな花。

広告

きものお貸し出しいたします

劇団新制作座の創業者で劇作家・演出家の眞山美保が選んだ「きもの」を貸し出してあります。日本の伝統芸術の美しさを体験してみませんか。お気軽にお問い合わせください。



「和装文化の朱鷺」 <http://ameblo.jp/wasoubunnkanotoki/>

劇団 新制作座 衣装部 [朱鷺-toki-]